

**里山保全団体が活動を継続するための  
取り組みに関する研究**

**緑地計画学**

**田中天**

# 研究の背景及び目的

## 背景

- 近年、里山の保全活動に取り組む市民団体が多くなり、活動期間が長くなっている。
- 高齢化や新規会員の不足等の問題。
- 継続的な活動を行うことが困難となっている団体も少なくない。

## 目的

- 大阪府下の里山保全団体における、
  1. 団体運営の仕組み
  2. 活動実態の変化
  3. 会員獲得や育成の取り組みの現状
- 以上を捉えることで、里山保全団体の継続のあり方を探る。

# 調査及び解析方法

## 調査対象団体

- 大阪府下で活動する里山保全団体

## 調査方法

- 平成29年12月に実施
- アンケート調査
- 配布及び回収方法 | 郵送留置方式  
メールで送付  
回収
- 配布数 | 92票
- 有効回答数 | 39票
- 回収率 | 42.4%

## 調査内容

- 設立年
- 代表者の移り変わり
- 役員会、事務局、総会、分科会の有無
- 設立当時と現在の会員数
- 設立当時と現在の活動頻度、  
目的、内容
- 新規会員の受け入れ状況
- 新規会員の勧誘や広報の方法
- 研修、他事例の視察の有無
- 活動を継続していく上での課題認識

# 調査及び解析方法

## 解析方法

団体運営の仕組み

活動実態の変化

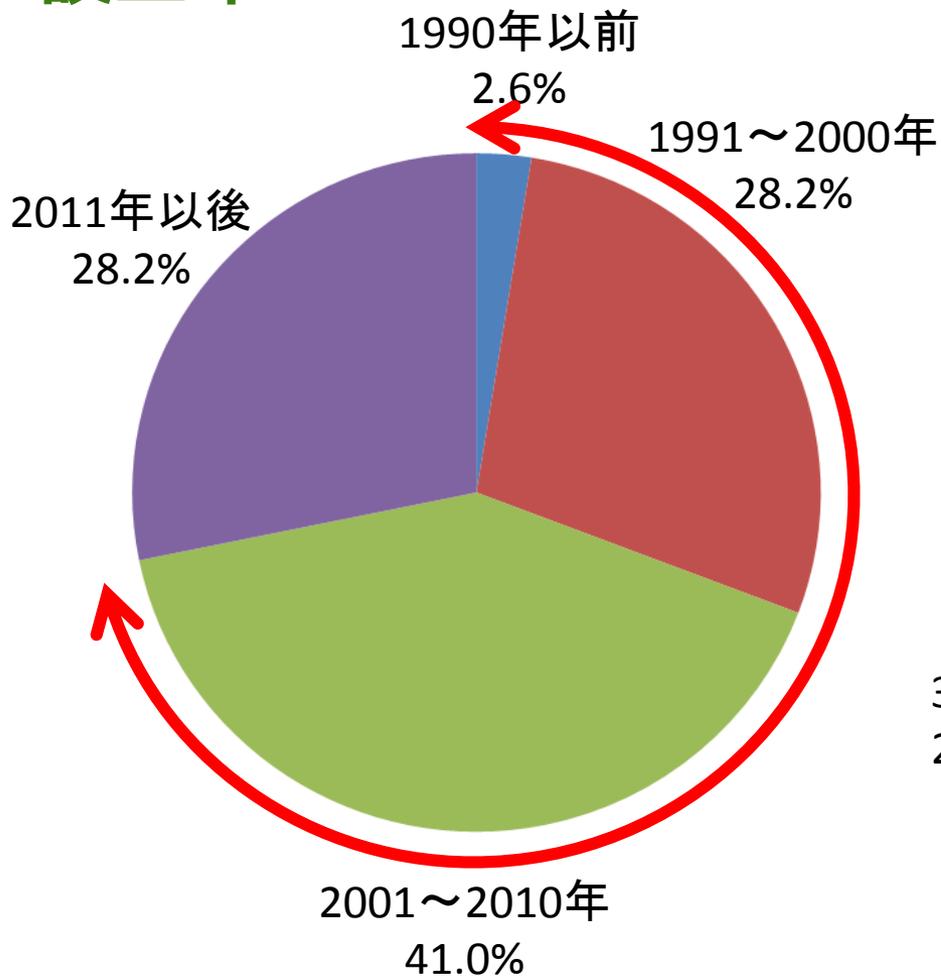
会員獲得と育成に関する  
実態と課題

## 調査内容

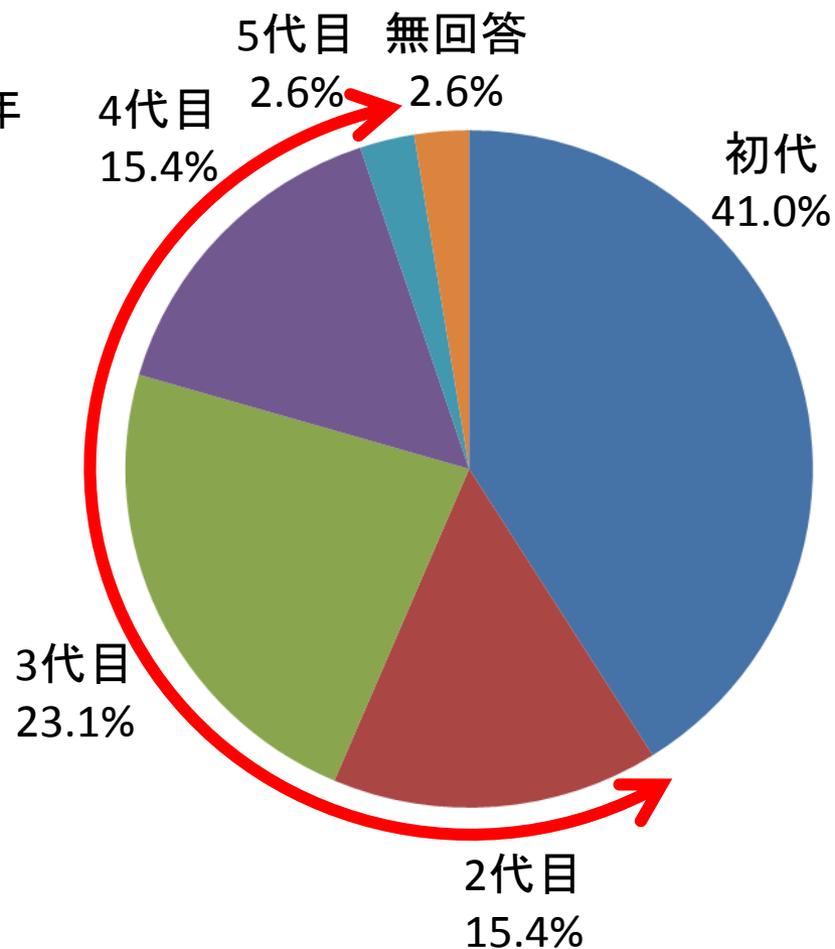
- 設立年
- 代表者の移り変わり
- 役員会、事務局、総会、分科会の有無
- 設立当時と現在の会員数
- 設立当時と現在の活動頻度、目的、内容
- 新規会員の受け入れ状況
- 新規会員の勧誘や広報の方法
- 研修、他事例の視察の有無
- 活動を継続していく上での課題認識

# 団体運営の仕組み

## 設立年

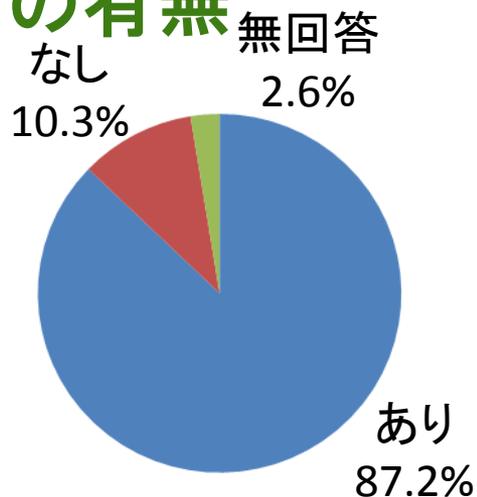


## 代表者の移り変わり

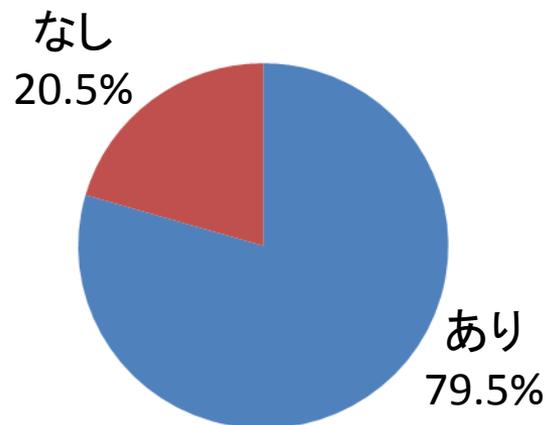


# 団体運営の仕組み

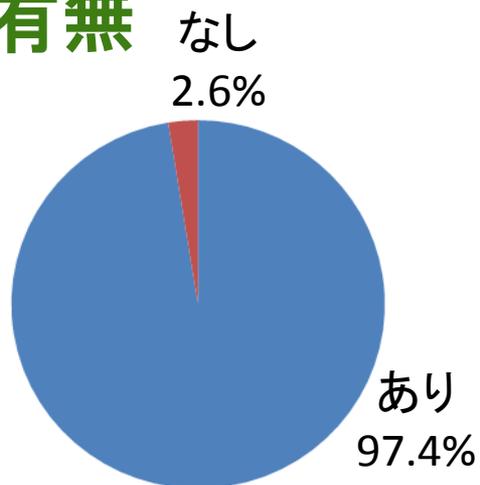
## 役員会の有無



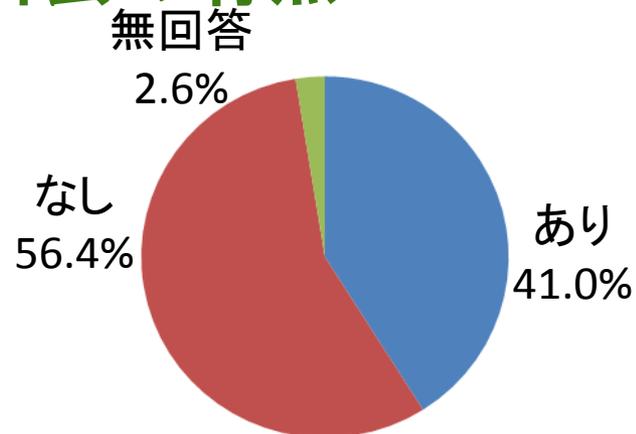
## 事務局の有無



## 総会の有無

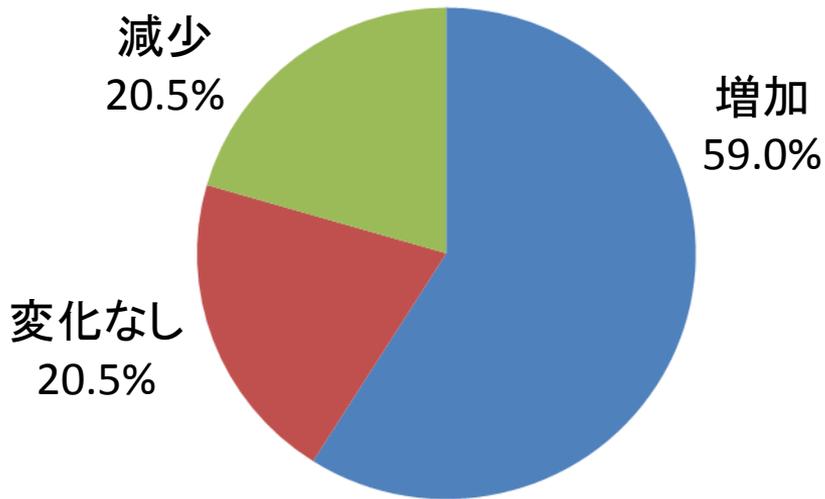


## 分科会の有無



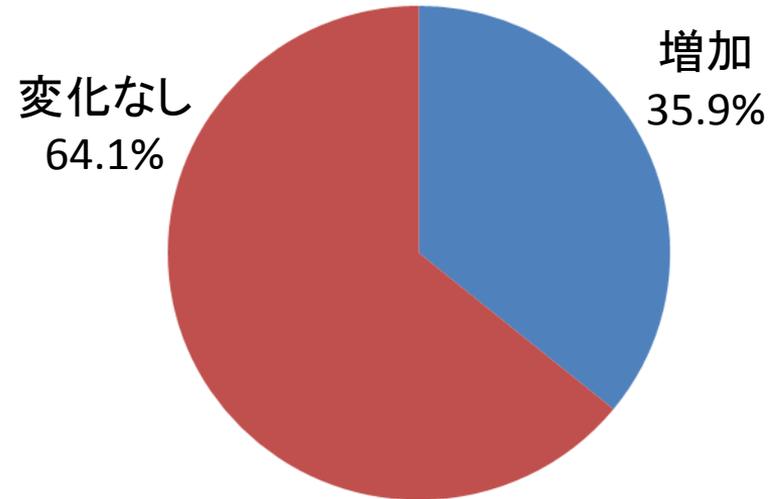
# 活動実態の変化

## 設立当時と現在の 会員数の変化



※設立当時から現在で1割以上の増加→増加  
設立当時から現在で1割以内の増減→変化なし  
設立当時から現在で1割以上の減少→減少

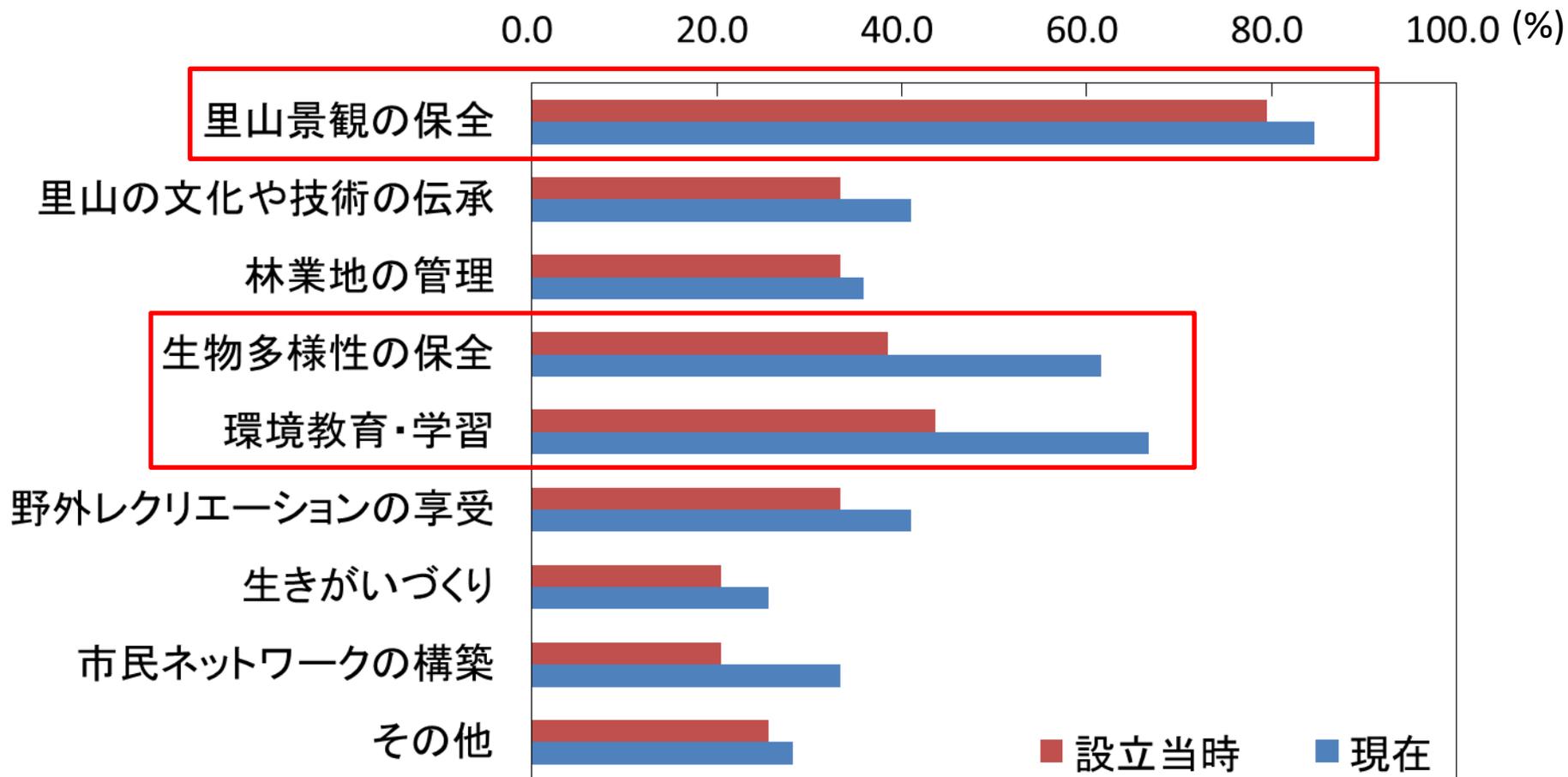
## 設立当時と現在の 活動頻度の変化



※設立当時から現在で活動頻度が増加→増加  
ex. 月に数回→週に数回  
設立当時から現在で活動頻度の変化なし→変化なし  
ex. 週に数回→週に数回  
設立当時から現在で活動頻度が減少→減少  
ex. 週に数回→月に数回

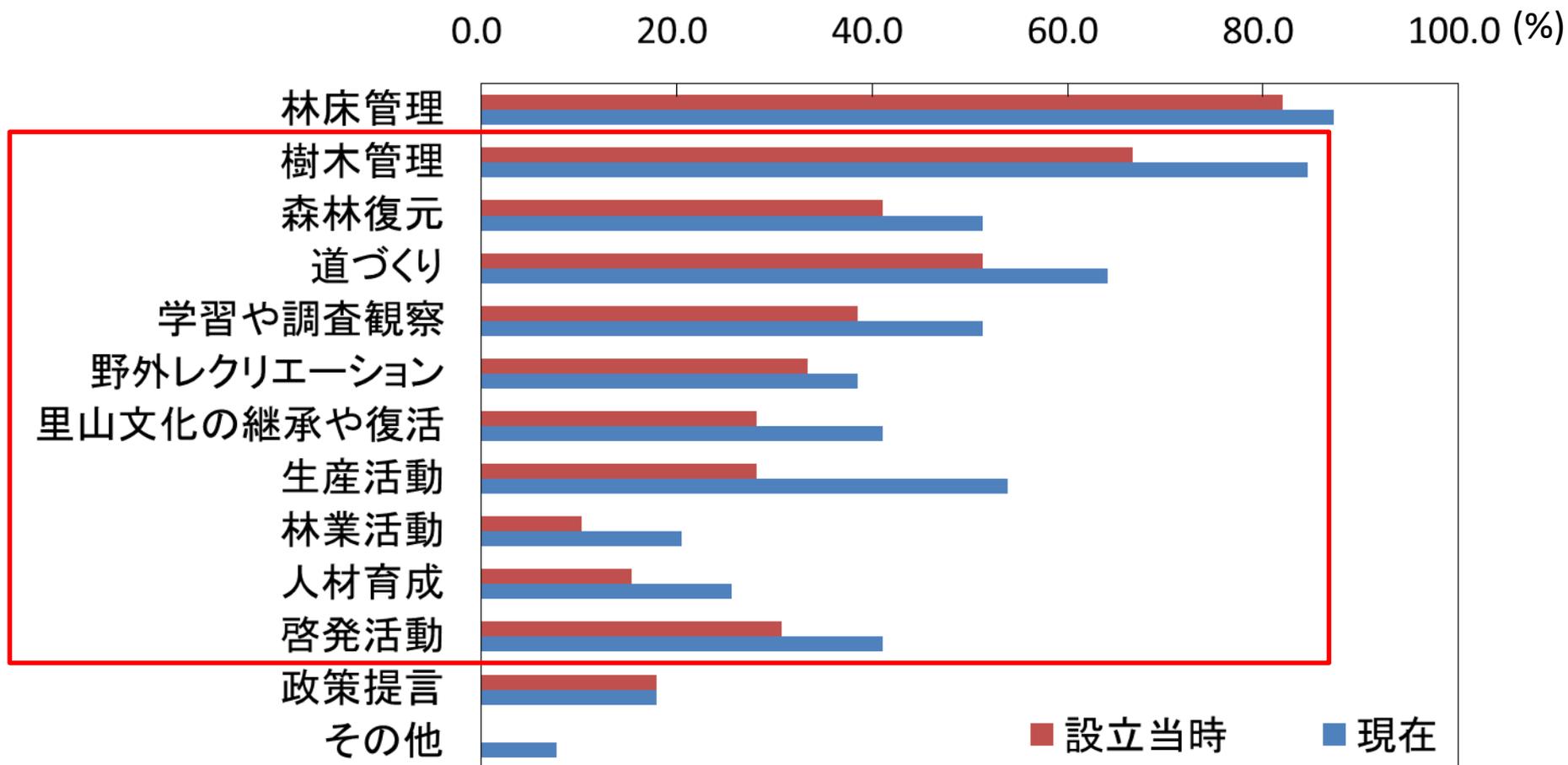
# 活動実態の変化

## 活動目的



# 活動実態の変化

## 活動内容



# 団体運営の仕組みと活動実態の変化

## 団体運営の仕組み

- 設立から10年以上が経過している団体が約7割。
- 役員会や事務局を設けている団体が8割前後。
- 総会を設けている団体はほぼ全てで、分科会を設ける団体が約4割。

## 活動実態の変化

- **会員数**が増加した団体が約6割と多いが、減少した団体も約2割存在。
- **活動頻度**が増加している団体が4割弱。
- 活動目的や**活動内容**が多様化している。

## 二つの分類

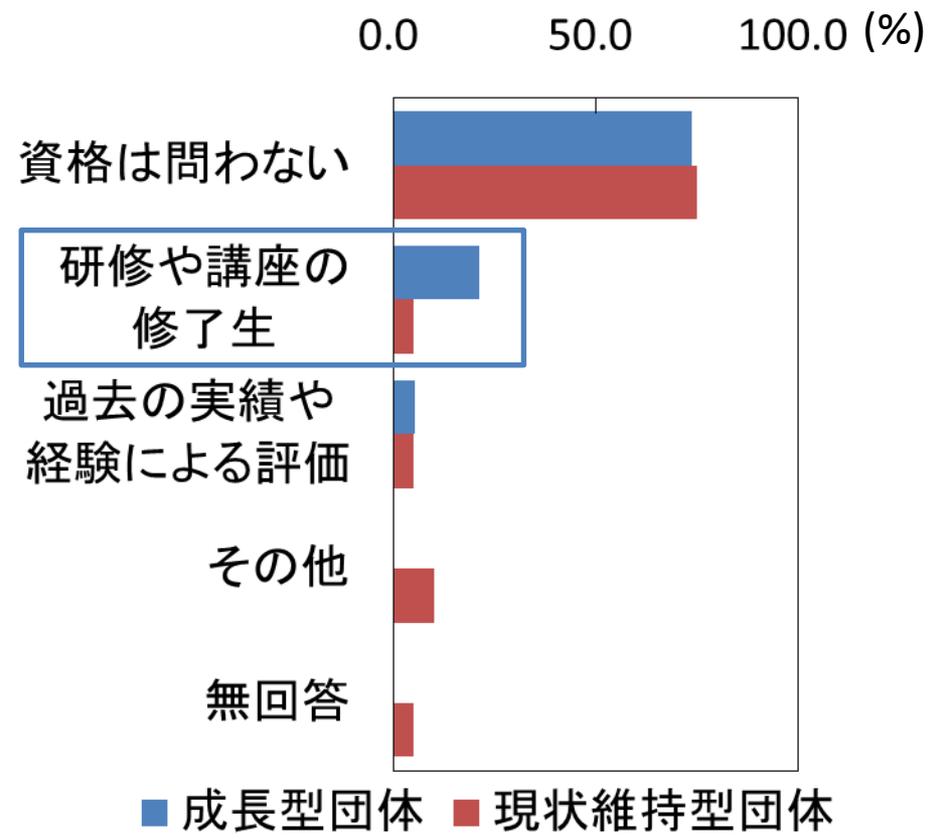
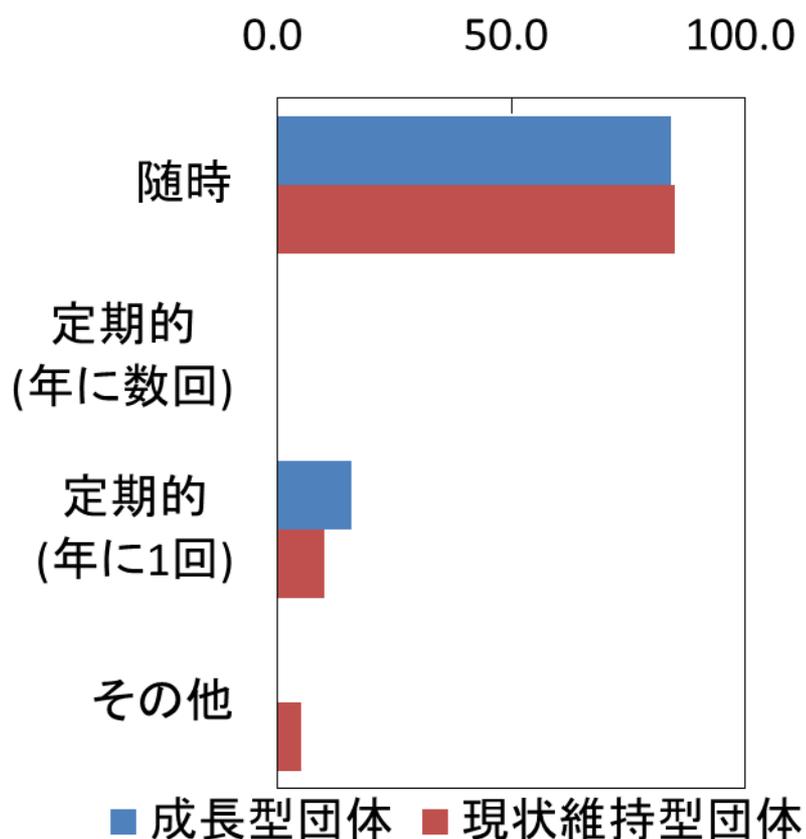
- 2項目以上が増加→「成長型団体」、それ以外→「現状維持型団体」

- 成長型団体 19団体                      現状維持型団体 20団体

# 会員獲得と育成に関する実態と課題

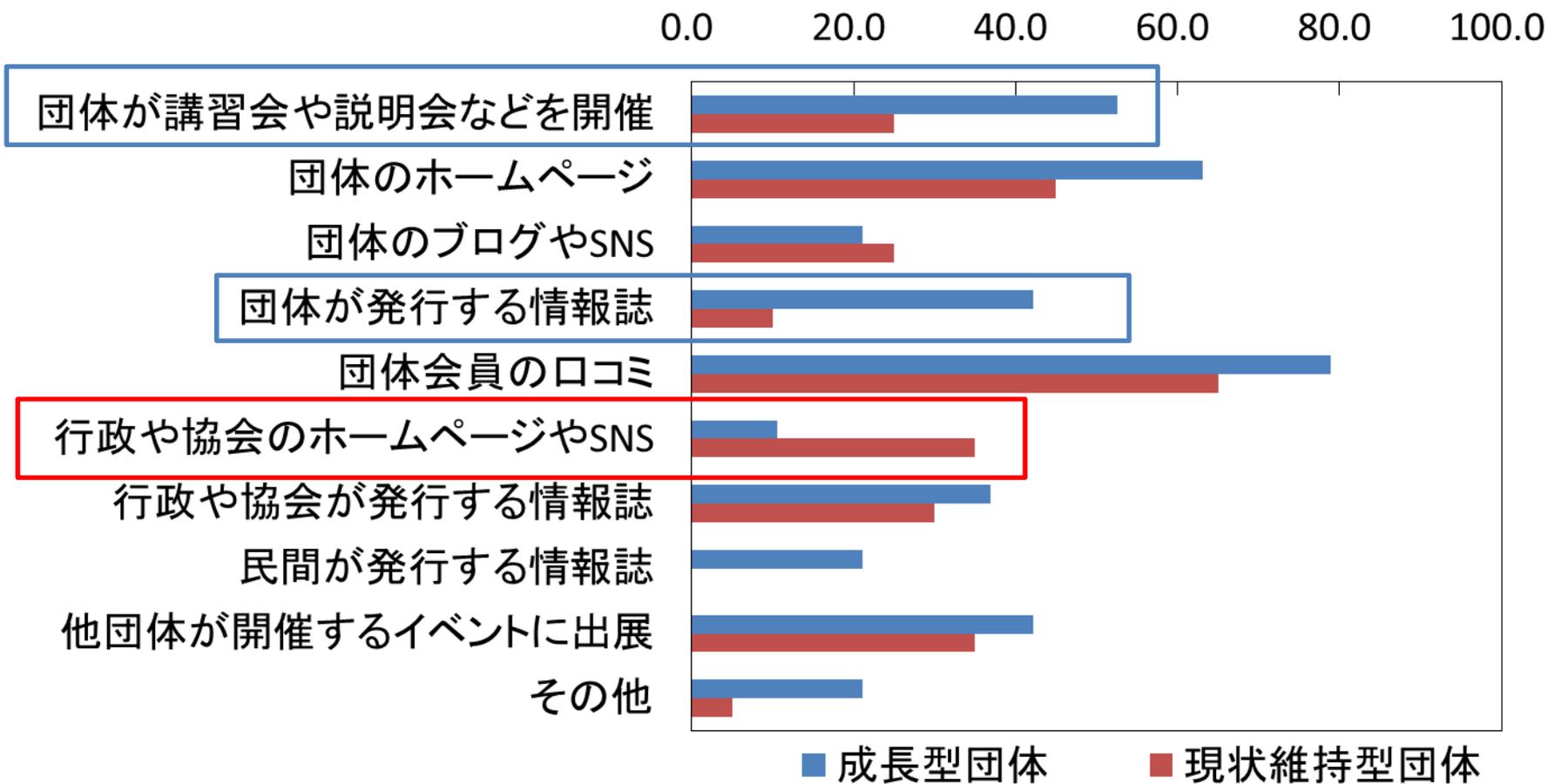
## 新規会員の受け入れ頻度

## 新規会員の資格



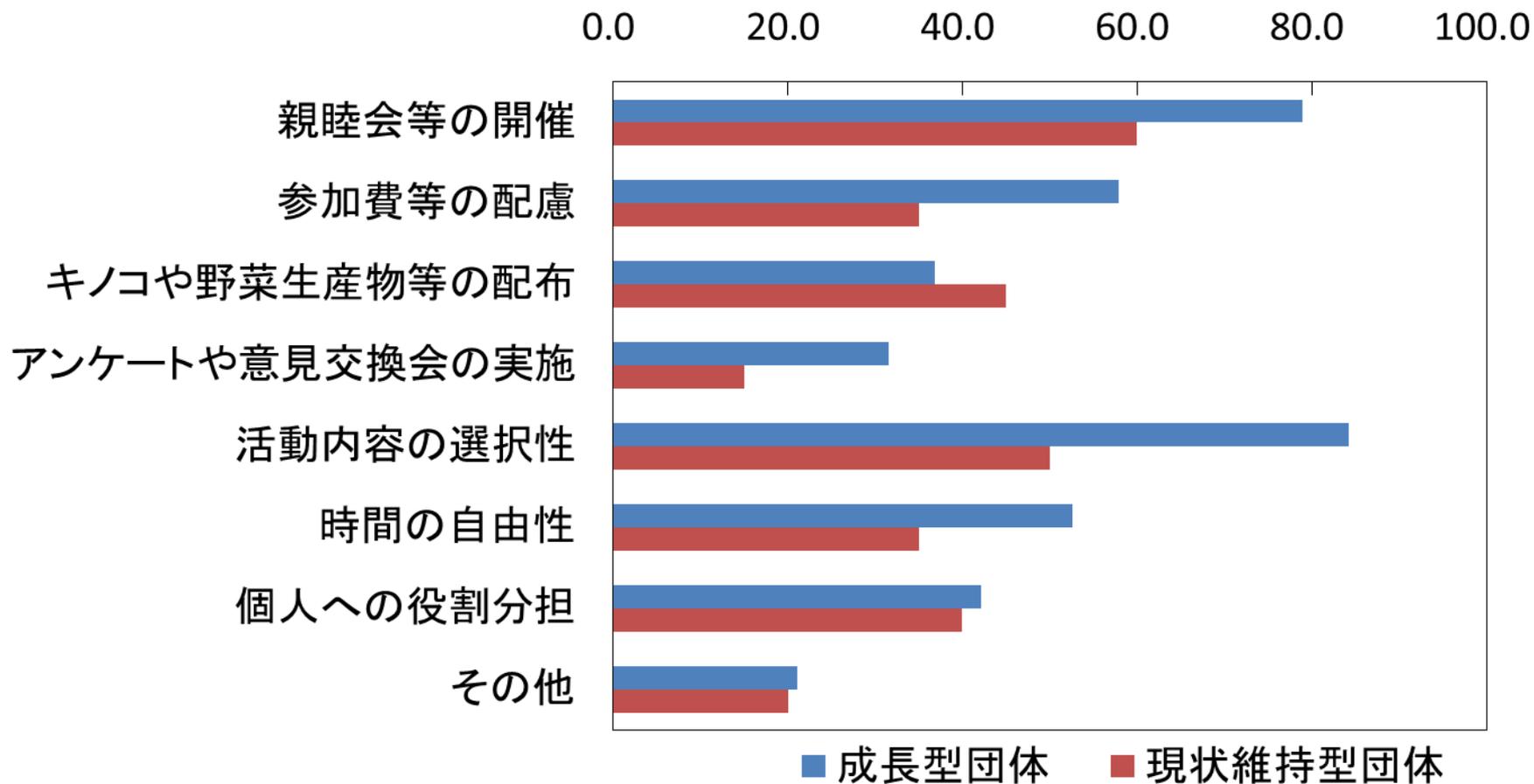
# 会員獲得と育成に関する実態と課題

## 新規会員の勧誘や広報の方法



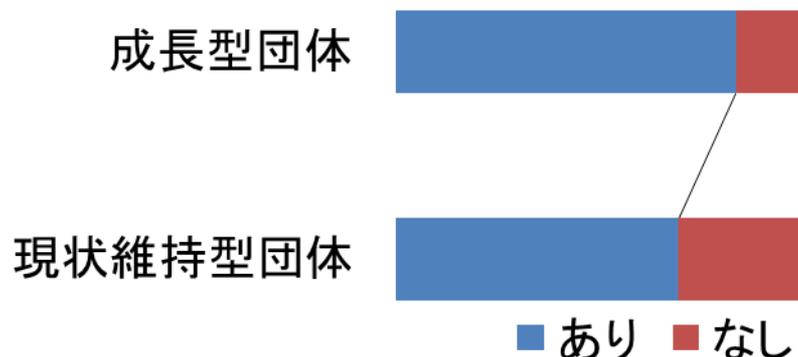
# 会員獲得と育成に関する実態と課題

## 会員の定着を促すための方法

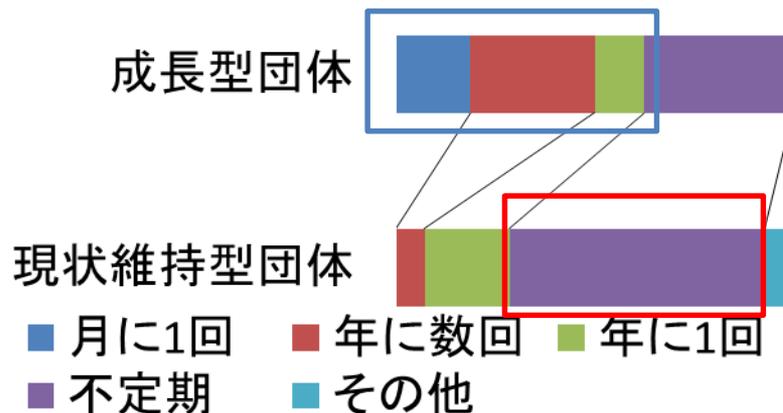


# 会員獲得と育成に関する実態と課題

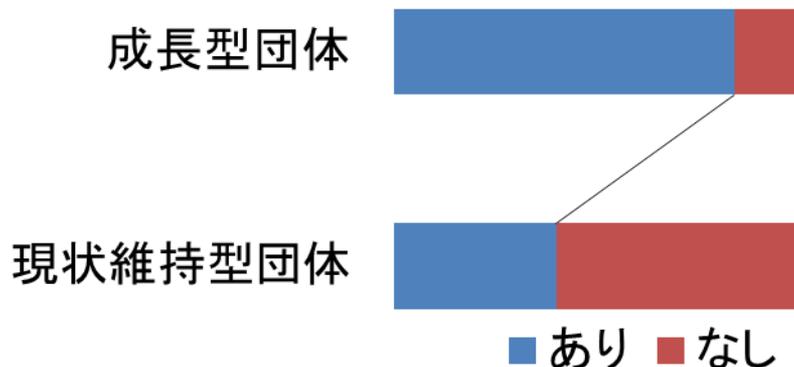
## 研修の有無



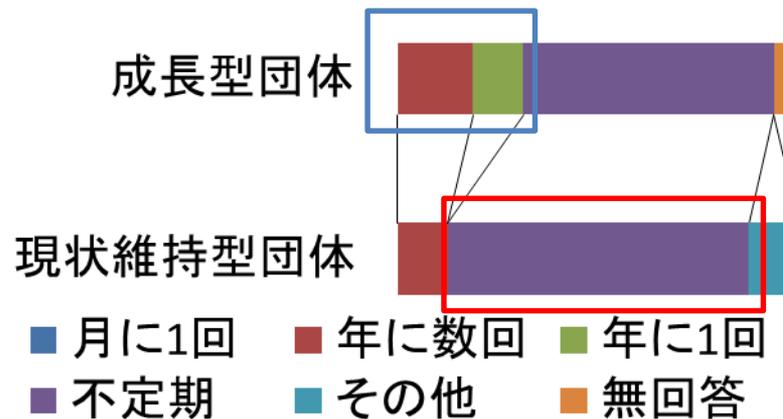
## 研修の開催頻度



## 他事例の視察の有無



## 他事例の視察の開催頻度



# 会員獲得と育成に関する実態と課題

## 課題認識と重視している事柄

成長型団体	現状維持型団体
<p>【会員確保の課題】</p> <p><u>会員の高齢化が課題(8)</u></p> <p>会員の減少や新規会員の獲得が課題(4)</p> <p>中年層、若年層会員の確保が課題(4)</p>	<p><u>会員の高齢化が課題(6)</u></p> <p>会員の減少や新規会員の獲得が課題(5)</p> <p>中年層、若年層会員の確保が課題(2)</p>
<p>【会員確保がうまくいかないことから発生する課題】</p> <p><u>重作業から軽作業中心に移行(4)</u></p> <p>限られた人数で活動せざるを得ない(1)</p> <p>活動の衰え(1)</p>	<p><u>現状維持がやっと(1)</u></p> <p>会員の肉体的負担増加が気がかり(1)</p> <p><u>あと数年で解散も考えられる(1)</u></p>
<p>【その他の課題】</p> <p>理事や役員のなり手が少ない(1)</p>	<p>理事や役員のなり手が少ない(2)</p> <p>活動資金の調達が課題(3)</p>
<p>【その他、重視している事柄】</p> <p><u>行政や自治会(町内会)の理解が大切(2)</u></p> <p><u>目先の楽しさで方向性を失わないように、</u></p> <p><u>当面の目標と長期目標をたてる(1)</u></p> <p>自主的、主体的に参加できるよう仕組みづくり(1)</p>	<p><u>現在活動中の方が複数の活動地区へ参加して</u></p> <p><u>いただければ、各地区の参加者も増えると思う</u></p>

# まとめ

- 市民による里山保全活動が行われ始めてから**10年以上**が経過し、活動目的や活動内容が多様化している。
- 会員の**高齢化**や**新規会員の獲得**などが課題として認識されている。
- 団体が**自らの情報発信ツール**を用いて主体的に新規会員の勧誘や広報に取り組み、研修や他事例の視察を**定期的に行う**ことが重要である。